

【2020年04月17日:東京 ウェビナー開催】働き方改革推進コンソーシアム  
東京 定例会 2020 Vol.1 開催報告

下記の通り東京定例会 2020Vol.1 を開催しました。

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため急遽ウェビナーとして開催しました。

働き方改革推進コンソーシアム東京 定例会 2020 Vol.1を開催いたします。  
今回の定例会では、特別講演としてテレワークマネジメント社と総務省からそれぞれ講演をしていただきます。  
加えて会員企業であるXEENUTSと富士通から新たなワーキンググループの提案をしていただきます。

自社の働き方改革を実現するためのヒントを見出していただければ幸いです。

日時:2020年4月17日(金)15:00-18:00(14:30 接続開始)  
会場:ウェビナー (WEBセミナー)  
環境:インターネットに接続可能な Windows PCのブラウザ(Chrome / FireFox)

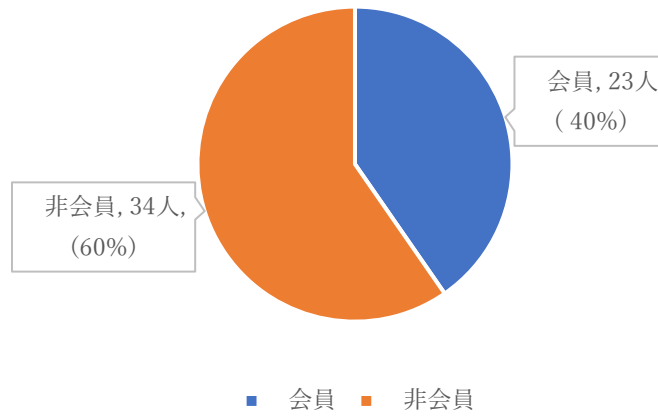
主催:働き方改革推進コンソーシアム  
後援:テレワークマネジメント、総務省  
参加費:無料(事前登録制)  
定員:40名(申込順で受付:定員になり次第受付終了)  
対象:働き方改革を実現しようとしている企業・団体の経営層や責任者ならびに導入支援企業・団体など  
(非会員の方も参加可能)

情報交換会(懇親会)は中止いたします。

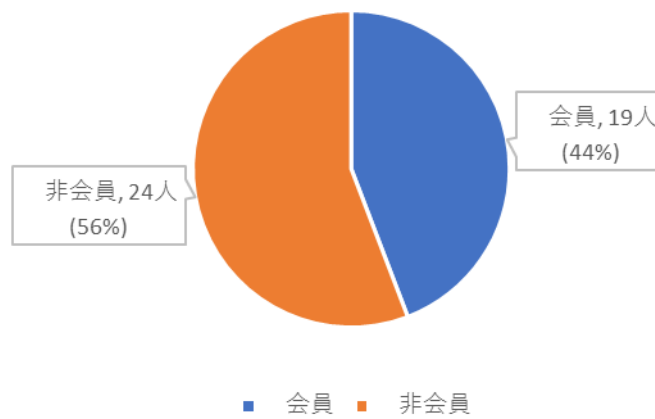
【開催内容】

No	時間	内容 / 講演企業	概要
1	15:00-15:20	オープニング	本日の定例会開催の趣旨、働き方改革推進コンソーシアムの活動方針と活動内容の紹介
2	15:20-16:00	特別講演-1 緊急事態宣言発令に伴うテレワーク導入最新状況 テレワークマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言を受けた各社の新型コロナ対策</li> <li>・今すぐとにかくテレワークをやりたい場合のポイント</li> <li>・テレワーク導入に関する各種助成金</li> </ul>
3	16:00-16:30	特別講演-2 「全国中小企業クラウド実践大賞」と働き方改革に関する取組 総務省 情報通信政策課	総務省が取り組んでいる「全国中小企業クラウド実践大賞」の紹介と同実践大賞で紹介された働き方改革に関する実践事例を紹介
4	16:30-16:40	休憩	
5	16:40-17:10	新たなワーキンググループ設立の提案 XEENUTS	テレワークに必須となるセキュリティを確保して社内のシステムに接続するためのソリューション(EXGATE)との連携
6	17:10-17:40	新たなワーキンググループ設立の提案 富士通	働き方改革を実現するためのコンサルティングに関する支援の紹介と協力依頼
7	17:40-18:00	クロージング	クロージング & 質疑応答

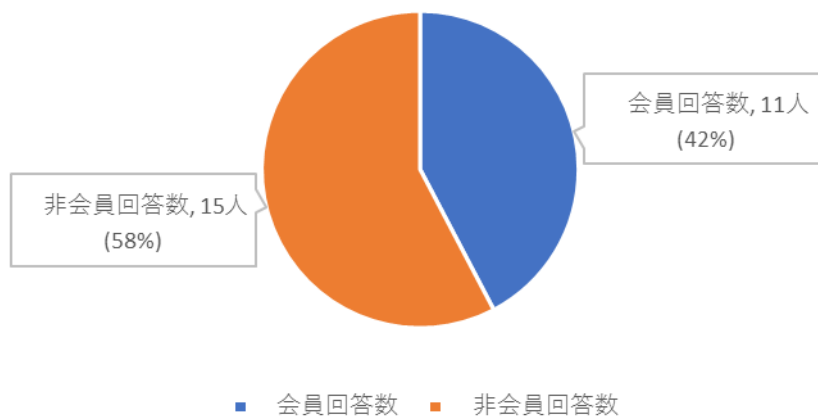
### 参加申込者数(57人)



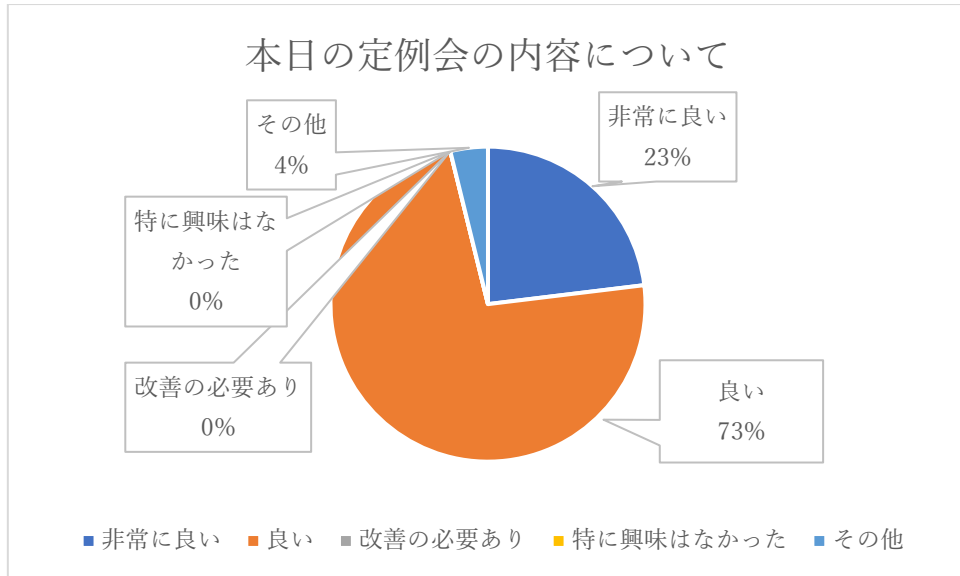
### 参加者数(43人<参加率75%>)



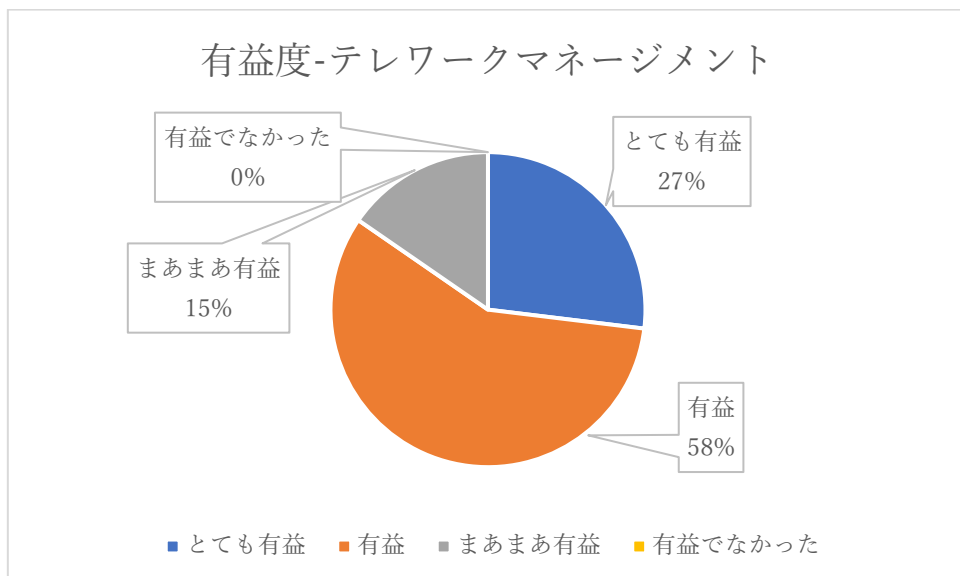
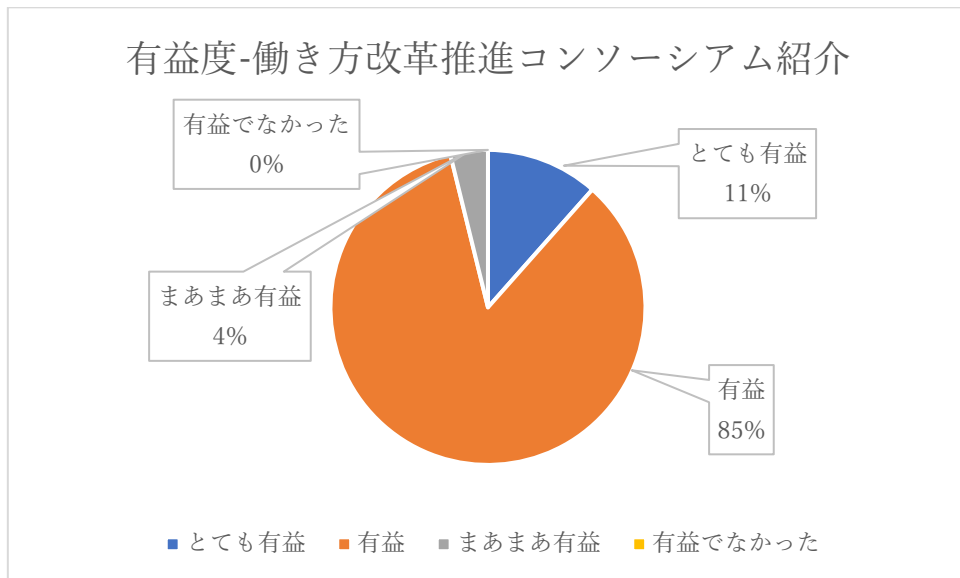
### アンケート回答数(26人<回答率60%>)



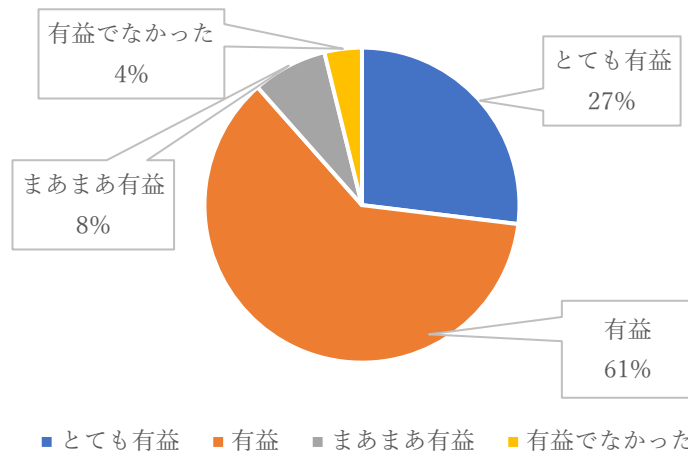
## アンケート回答結果



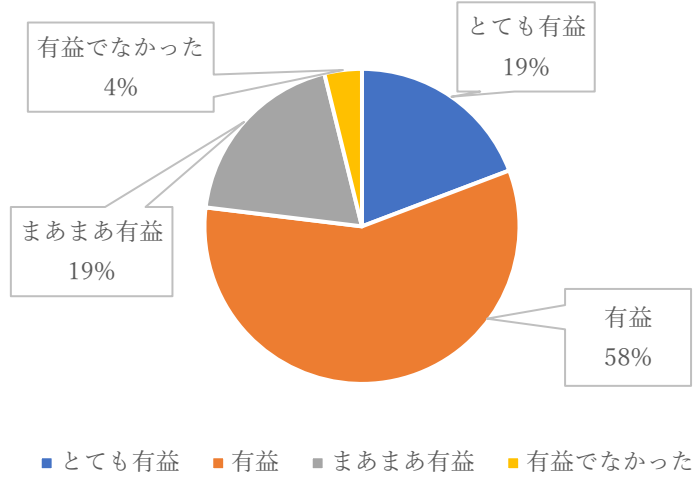
その他コメント: 分かり易く、幅広い内容が聞けた



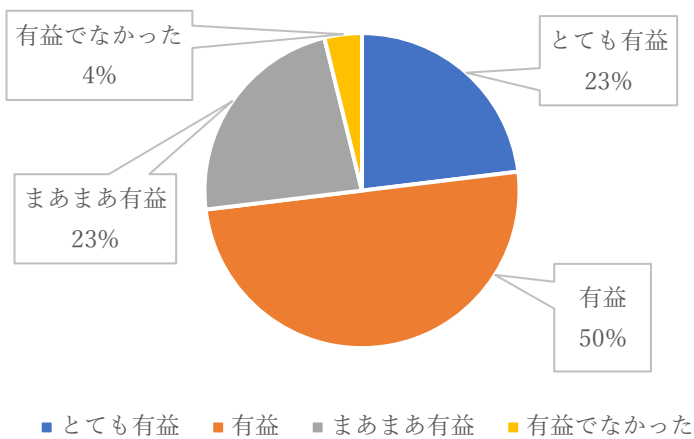
### 有益度-総務省



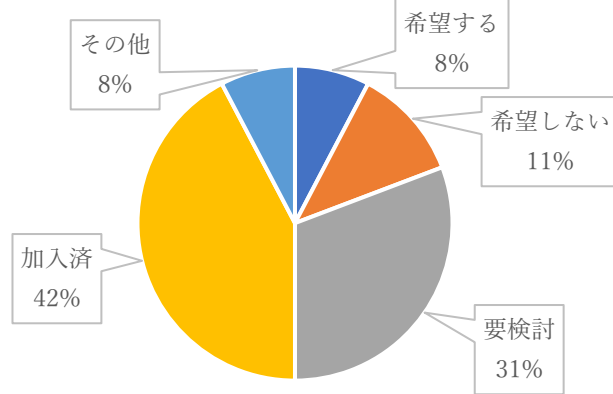
### 有益度-テレワーク推進分科会



### 有益度-業務改善

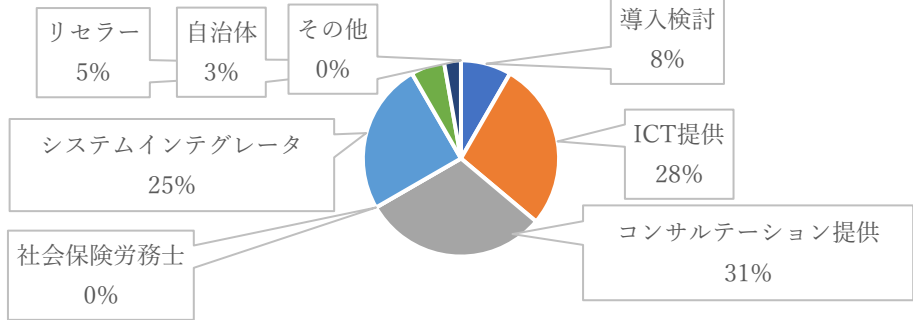


### コンソーシアムへの加入を希望しますか？



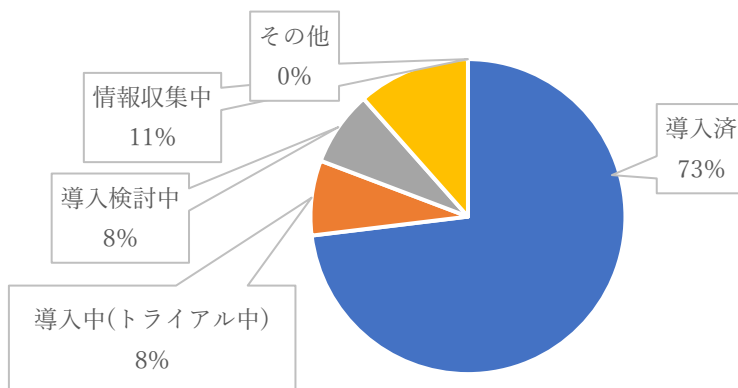
■ 希望する ■ 希望しない ■ 要検討 ■ 加入済 ■ その他

### 参加カテゴリ(複数回答可)



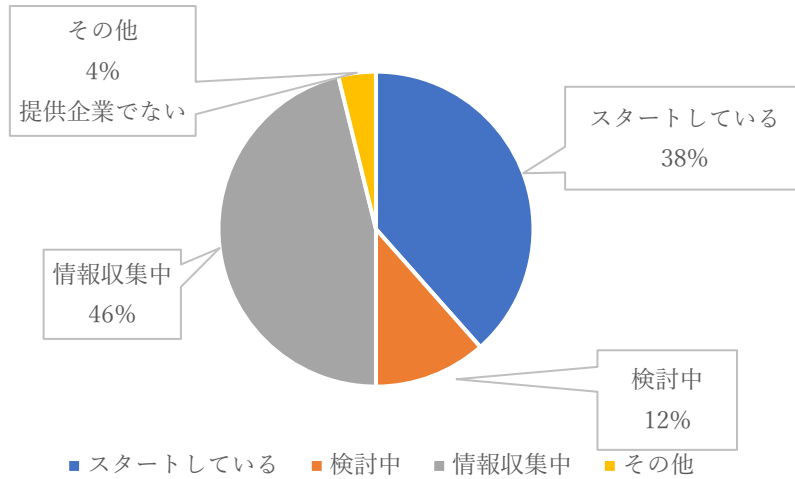
■ 導入検討 ■ ICT提供 ■ コンサルテーション提供  
■ 社会保険労務士 ■ システムインテグレータ ■ リセラー  
■ 自治体 ■ その他

### 働き方改革やテレワーク導入状況

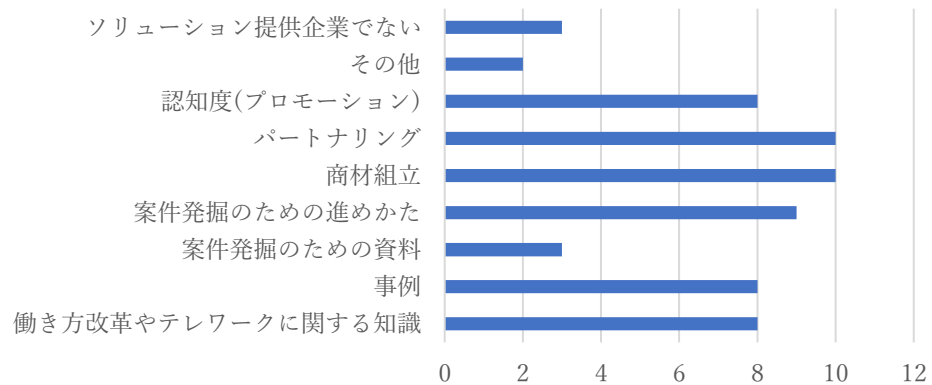


■ 導入済 ■ 導入中(トライアル中) ■ 導入検討中 ■ 情報収集中 ■ その他

## 提供企業のビジネス状況



## 提供企業がビジネス拡大のために不足していると感じている事は？(複数回答可)



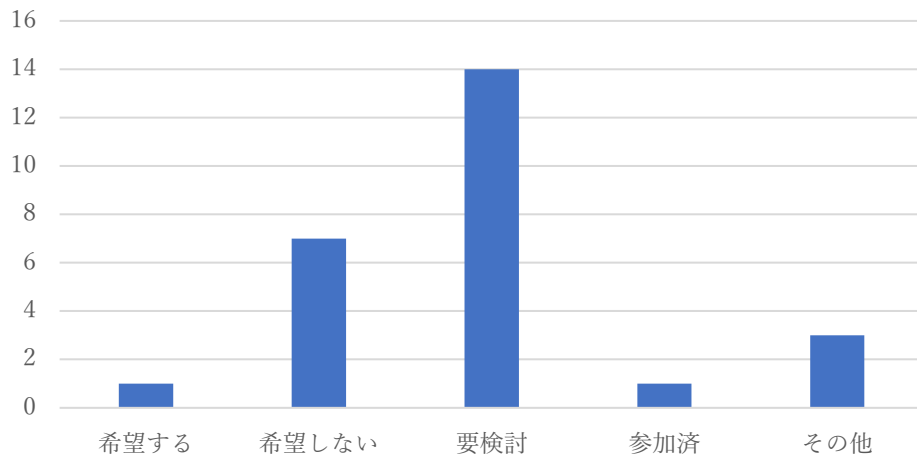
### その他回答

- ・会社としての意思決定、推進力。テレワーク=さぼってる の改善
- ・システム以外の整備(環境、コミュニケーション方法等)

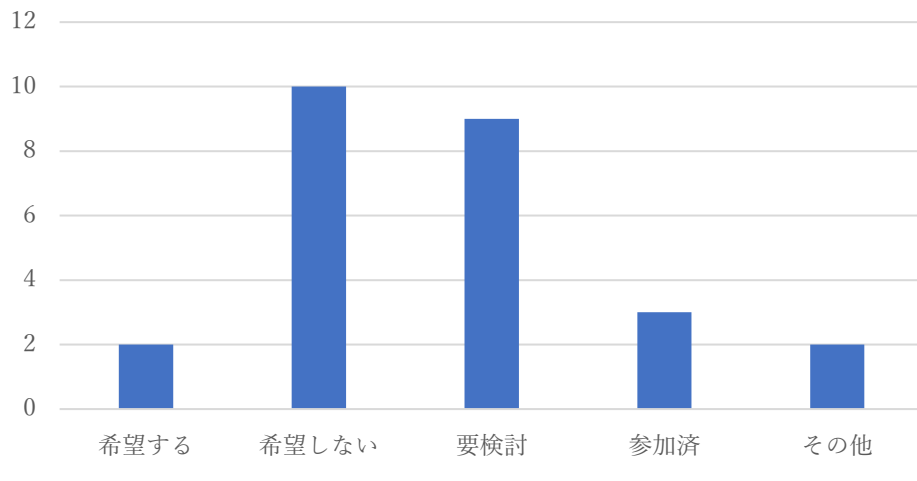
## 導入企業として働き方改革やテレワーク導入に関して最大の課題は何だと感じていますか？

- 経営層の理解、決断
- 新型コロナウイルスの影響で、お客様との打ち合わせもリモートで行わなければならない状況ですが、お客様によってはインフラが整っていない事があります
- 1)経営者の理解不足 2)業務単体の電子化でなく、業務全体の電子化提案ができていない 3)業態・業種による電子化ストーリー不足 ※私たちの業界・業種で無いから事例が参考にならない 4)今までやった事が無い、取組だ事が無いを理由に新しい事に取り組む意識の低さ
- 多くの経営者が、高齢で認知できない
- 給与制度と成果に対する評価との連動
- 管理職の危機意識の薄さ
- 1)古い体質の上司、新しいものを受け入れる姿勢に対抗のある社員たち 2) IT に関する定期コストがかさむことなく、導入出来ないと、凜義が下りない 3)これらは知識不足と同業者の実例もあまりない 4)デスクトップを使用していたり、紙ベースの作業など、問題が多い部署は、かなり、必要性を感じる事で(やる気)が無いと導入が進まない
- 紙ベースの業務
- 1)事業規模・従業員規模によって、フォーカスするポイント・優先度・課題感が違うこと 2)どこにフォーカスするかを絞って正しくコンサルテーションしないと実際の導入には結びつかない点
- 社内の各個人が、働き方改革のゴールや意義について、共有・納得できていないこと
- PC や通信環境の整備、勤務時間の証跡把握
- 経営者が今回の COVID-19 のようなことがないと自分毎として捉えられないこと
- セキュリティ
- 1)会社としての意思決定、推進力 2)テレワーク=さぼってる の改善
- COVID-19 環境下でやっと全体的にテレワーク導入が進行している。単独でテレワークソリューションの展開を準備しているが、知名度のない企業としては訴求力が弱い為、アライアンスによる訴求力を増す動きを模索しています。
- 日本の企業体質、導入方法が不明・予算
- トップのビジネス変革意識
- ルール策定
- 情報セキュリティの確保、業務、業務フローのデジタル化の遅れ(印鑑文化、紙文化など)障害者への対応
- 既存の業務方法との差に対しての慣れ(要時間)や新しいものを吸収した際のメリットを感じにくい点
- 制度およびツール導入予算獲得
- 自宅インターネット回線代や電気代やヘッドセット等機器代、交通費補助などの清算処理
- 情報セキュリティ、成果の管理(目標、達成度)
- 中小企業は業務システムがクラウド化していないのでテレワークが出来ない事
- 経営者と担当者の意識
- 決定権を持つ社員(役職者)が働き方改革やテレワークについての理解がないこと

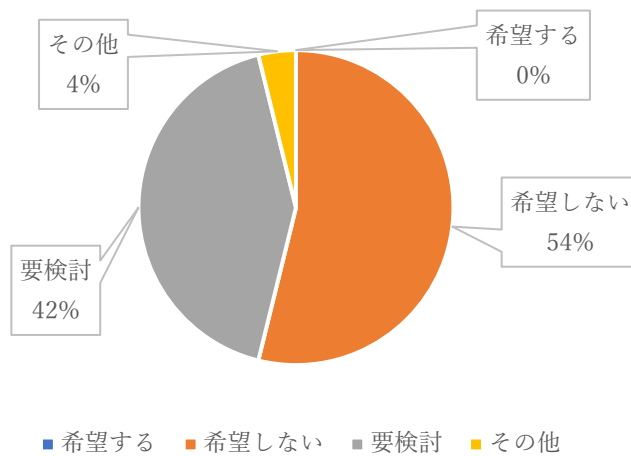
### テレワーク推進分科会への参加(XEENUTS)



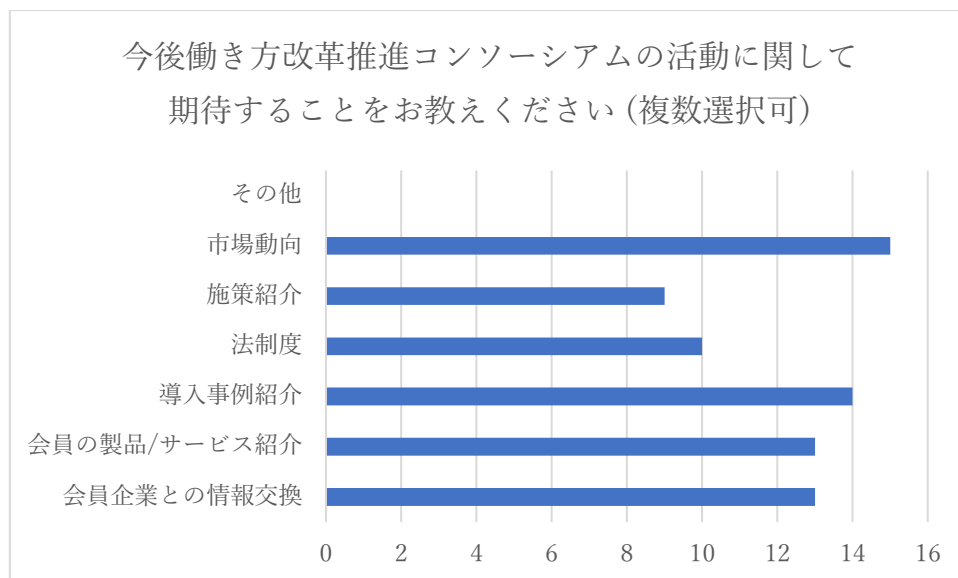
### 業務改善分科会への参加(富士通)



### 新たな分科会設立を希望しますか？







**働き方改革推進コンソーシアムに対する要望事項などご自由に記入してください**

- 今後ともよろしくお願い申し上げます。
- 新型コロナウイルスのおかげで図らずもテレワーク等、推進しなければならない状況です。言葉は 適切でないかも知れませんが、この機会に働き方改革が進む様、会員の英知を集めて頂きたいと思います。
- 地方にいますので、ウェビナー開催ですと参加しやすいです。
- 業界別の取り組み例。金融、製造等
- 定例会に参加させていただきありがとうございました。有効でした。

以上